

事業所名		当別町子ども発達支援センター		支援プログラム		作成日		2025 年		3 月		1 日	
事業所理念		当事業所は、心身に障がいのある児童及び発達に心配のある児童が、可能な限りその地域における生活が継続できることを念頭において、日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応ができるよう、当該児童の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切な支援を行うものとする。											
支援方針		・ サービスの実施にあたっては、利用者及びその児童の意思及び人格を尊重して、常に利用者及びその児童の立場に立ったサービスの提供に努めるものとする。 ・ サービスの実施にあたっては、地域及び家庭との結び付きを重視し、他の通所支援事業者、その他の保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者との連携に努めるものとする。											
開設時間		8 時 45 分から 17 時 15 分まで						送迎実施の有無		なし			
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・ 来所した際に児童の様子、体調を確認する。児童ひとりひとりの発達の過程や特性等に配慮し、小さなサインでも心身の異変に気付いて適切な対応ができるように、児童の発信を丁寧に受けとめる。 ・ 食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身のまわりを清潔にすること等の児童の生活に必要なことは、保護者と連携をとりながら支援する。その際、児童ひとりひとりの発達や特性に配慮し、心身の状態やタイミングを見極めた適切な助言等を行う。											
	運動・感覚	・ 児童が楽しみながら、からだを動かす意欲が育つよう、ひとりひとりの発達に合わせた遊具や環境設定、内容を考慮する。保有する感覚（視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等）を十分に活動できるように、児童の好きな遊び、興味関心のある物事を中心に、生活、遊びを通して支援する。 ・ 感覚の特性（過敏さや鈍麻さ等）を踏まえ、環境調整等配慮する。感触遊び等は無理にならないよう、ひとりひとりのペースに合わせて行い、好きな感触、楽しめる遊びを探索していく。											
	認知・行動	・ 視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用し、これらの感覚から情報が適切に取得できるよう、児童が「楽しい」と感じる遊び、好きな素材等、興味関心のある活動を中心に支援する。 ・ 形、色、音などの変化、数や大小、長短、高低、重さなどの比較等、身のまわりの物事を丁寧に伝えたり、視覚教材等を使用しながら、基本的な概念の形成を図ることができるよう支援する。 ・ 指示理解、順番、物の貸し借り等、様々な場面における適切な行動に気が付き、経験できるよう支援する。											
	言語コミュニケーション	・ 児童の表出を受けとめ、共感を大切に。思いをくみとり代弁したり、ことば等（やりとり）のモデルを示す。その際はことばだけではなく、表情や視線、指差し、サイン、身振りなどから思いをくみとり、ひとりひとりの児童に合ったコミュニケーションの方法で支援する。 ・ 興味関心のある物事を中心とした名称等、または様々な経験を重ねていくことで、ことばの意味が結びつき、自発的な表出が増えていけるよう支援する。											
	人間関係社会性	・ 安心感、気持ちの共感を大切に、人への信頼感、同時に自身に対する信頼感を育めるように支援する。児童の得意なことを認め、十分に褒めながら自信につなげていけるように支援する。困った時や助けが必要な場面で、適切なサポートを行い、児童自身が行動の特徴（好きなこと、得意なこと、苦手なこと等）を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。 ・ 小集団の遊びや活動の中で、自分の思いを主張すること、相手の思いにも気が付いていけるように支援する。											
家族支援		・ 家族の子育てやきょうだい間、生活の中等の困りごとへの相談を受け、適切な助言等を行えるよう支援する。支援の場面を通して、発達の気付きや助言、提案等を行う。						移行支援		・ こども園や小学校、学童保育等、児童のライフステージの切り替えの際には、児童が周囲の理解を得ながら、可能な限りその場で力を発揮できるよう支援する（相談援助、移行先との調整、連携会議、見学等）。			
地域支援・地域連携		・ 利用児童またはその家族が、地域の様々な場面で適切な支援を受けることができるよう、日頃よりネットワークを構築する（保健師、子育てサポート、所属する園や学校、医療機関、児童相談所、民生委員等）。						職員の質の向上		・ 定期的実施している専門支援事業で、臨床心理士を迎え、支援等への助言を受け、学習会等を設けている。 ・ 事業所内での研修及び外部での研修に積極的に参加し、自己研鑽に努めている。			
主な行事等		・ 4月～9月：避難訓練（火災）、新年度懇談会、保護者交流会、就学先の見学、水遊び、課外活動（小学生）、学習会 ・ 10月～3月：避難訓練（地震）、保護者交流会、学習会											